



しおかぜ



新春法会開催について

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

一年のスタートである「新春法会」を、今月13日(月・成人の日)に塩竈道院専有道場を会場に開催します。

この新春法会は2025年度の活動方針を共通認識する重要な行事です。新年会では、新年を共に祝い楽しい一時を過ごし



2024. 12. 29 道院長資格認定教区講習会で

道院長資格認定教区講習会開催

たいと思いますので多数の参加をお願い致します。

受講者は、7名ですが受講者の都合で2回に分けての開催となり、1回目を昨年12月29日(日)、塩竈道院専有道場を会場に「道院長資格認定講習会」を開催しました。1回目は、5名参加で仙台中央道院阿部副教区长・多賀城城南道院澁谷県教区講師補そして宮城県教区長である私が担当し開催しました。2回目は、今月5日(土)に残りの2名の受講の予定です。

この講習会は、新たに道院長になるための講習会で、まず、所属の県教区での講習を受講後に、本山での講習を受講し道院長資格を付与されるものです。

大澤隆管長 縁起

徳育

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、本年は「徳育」をテーマに金剛禅運動を展開していきたいと思えます。

開祖は法話の中で「徳」を、行人偏(ぎょうにんべん)にプラス4つの心と記し、尽くす心、捧げる心、与えて喜ぶ心、哀れむ心と表現

されると共に、合わせて徳を教えることの難しさも語られております。それは目に見えないものであり、一朝一夕に身に付けられるものではないからです。しかし、人間は可能性の種子です。大宇宙の大霊力たるダーマの徳性は、誰もが修行と努力によって人間の霊性として発現できるとも教えています。

金剛禅の修行は技の修練が大半です。だからといって技の優劣や自己の能力ばかりに重きを置いてしまえば、当然、徳を育てることはできません。技を修練する中で、相手を敬う、感謝や思いやりの心を持つ、

2024. 12. 28 道場大掃除後に有志で



今後の予定

- ◎ 1月13日(月)10:00 ~ 新春法会(塩竈道院専有道場)
- ◎ 1月25日(土)~26日(日) 地域社会武道研修会(宮城県武道館)
- ◎ 2月 9日(日) 9:00 ~ 宮城県教区新春法会・教区講習会(塩竈道院専有道場)
- ◎ 2月23日(日) 宮城武専・昇格考試(青葉体育館)

謙虚な姿勢で向き合う等、肉体を整えるのと同じように、自己の内面も整えていくことで、自らの内にあるダーマの徳性に気づき、養い育てることができるようになります。それが自身の成長、人としての質の向上につながると同時に周囲との調和を生む力にもなります。



2024. 12. 15 鎌田礼二の議会報告 (塩竈道院専有道場)

「徳を育てることは年齢問わず取り組むことができます。全国の道院長、門信徒、一人一人が人としての質を高めることで、自己確立・自他共楽の理想境へと近づきます。人は誰もが時間と命を平等に与えられています。どうか与えられた時間と命を最大限に生かしてください。この2025年、健康に留意しながら、「徳育」を通じて自身の幸福と他者の幸福を生み出せるように共に金剛禅運動に邁進していきましょう。

中国古典 紹介

驥は一日にして千里なるも、驚馬も十駕

すれば則ちまたこれに及ぶ 『孟子』

「驥」とは、一日に千里も走る名馬である。人間で言えば、天才と言ってよいかもしれない。

これに対し、「驚馬」とは鈍才である。天才に比べれば十分の一くらいの能力しかない。だが、そんな「驚馬」でも、十日も走り続ければ、「驥」の一日の工程に追いつくことができるのだという。

言うまでもなく、これは、ふだんの努力の大切なことを語ったことばである。

せっかく立派な目標を立てても、実行に移さなかったら、絵にかいた餅に等しい。ま

た、実行に移しても、途中でやめてしまったのでは、これまたなんにもならない。なにことも継続することによって、豊かな実りが期待できるのだ。

とにかくそのような継続努力を要求されるのが、自己啓発である。リーダーたる者は、すべからず「驚馬」に見習って、一日も自分を鍛える努力を怠ってはならない。



2024. 12. 28 道場大掃除後 有志で一杯